

平成31年度全国学力・学習状況調査結果について

丹波市立前山小学校

全国学力・学習状況調査は、教育委員会や学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的としています。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分ではありますが、本校の児童の実態を客観的に把握するのに大切な資料となります。子どもたちの学力向上を目指して、十分に検討し、指導の工夫・改善に一層取り組んで参ります。

○概要 実施日：4月18日 対象児童：6年生

【教科に関する調査】国語・算数

【児童質問紙調査】児童の学習意欲や方法、学習環境や生活の諸側面等に関する調査

国語 (○：成果、△：課題、⇒：工夫・改善点)

○「話すこと・聞く事」の力がついています。話し手の意図を捉えながら聞くことや目的に応じた質問ができます。また、自分の考えをまとめることができています。

○「読むこと」の力もついています。文章全体を概観して読むことや目的に応じて文章の内容を捉えることができています。

△「書くこと」で、図表やグラフなどを用いた目的を捉えること、情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫に課題がみられました。また、目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題がみられました。

⇒読み取りで終わらず、読み取ったことをもとにして自分の考えを書く活動を取り入れていきます。また、国語の授業以外でも書く機会を増やします。

△学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がみられました。

⇒習った漢字を使って文章を書くように指導していきます。そのために、書いた文章を読み直す習慣をつけます。

算数 (○：成果、△：課題、⇒：工夫・改善点)

○「数量関係」において、基本的なグラフの特徴や傾向の読み取りはできています。何倍になっているかというような比較ができています。また、問題文から伴って変わる二つの数量を見出すことができています。

○「数量関係」「量と計算」では、場面の状況から、単位量あたりの大きさをもとに求め方と答えを記述することができています。問題場面が簡単な整数であれば、単位量あたりを理解できています。

△「図形」「割合」「数の操作（計算の順序・工夫した計算）」に課題がみられました。

⇒具体物の操作活動を繰り返したりいれることで、スムーズに抽象化できるように授業改善していきます。また、答えだけではなく算数の学習に出てくる言葉を使いながら、求め方を説明する活動を取り入れていきます。

⇒昨年度に引き続き、単位量あたりの意味を理解するために、公式を覚えるだけではなく絵や図などを思考の助けとして問題を解くよう指導していきます。

⇒計算の順序や工夫した計算の学習では、加法・減法・乗法・除法が混合した式での計算の順序を繰り返し指導します。

《学習・読書・生活習慣》	前山	全国
◎普段、1日当たり1時間以上勉強する	86.6	66.1
○家で自分で計画を立てて勉強をしている	80.0	71.5
◎毎朝、朝食を食べている	100.0	95.3
△普段、家で10分以上読書をする	60.0	65.7
△毎日、同じぐらいの時刻に寝ている	73.3	81.4
○毎日、同じぐらいの時刻に起きている	93.3	91.6

⇒家庭での読書が課題としてみられます。家庭学習の中で読書を取り入れたり、主体的に取り組める課題を与えたりしていくことで、少しずつ改善がみられます。また、「生活点検カード」を活用し、メディア、起床、就寝についても指導していきます。学校と家庭が連携し、望ましい生活習慣を自ら作ろうとする子どもたちに育てていきましょう。

《学び合い》	前山	全国
△資料や文章、話の組み立てを工夫して考えを発表できている	46.7	62.5
○話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている	73.3	74.1
◎学級会で話し合い、お互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている	80.0	74.0

⇒学級活動をよくするための話し合いがしっかりできています。資料や文章、話の組み立てを工夫して考えを発表することに課題が見られたので、授業の中で絵や図を使って伝える活動を取り入れています。現在では、取り組みの成果がみられ改善されつつあります。引き続き、授業改善に取り組んでいきます。

《自尊感情》	前山	全国
△将来の夢や目標を持っている	60.0	83.8
◎難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	86.7	79.0

⇒夢や目的を持って挑戦する子どもたちを育てるために、学校・学級目標及び個々の目標を常に意識させるよう取り組んでいます。達成感やより高い目標に向かっていけるように道徳・キャリア教育をすすめていきます。

《規範意識・仲間意識》	前山	全国
○学校のきまりを守っている	86.7	92.3
○人の役に立つ人間になりたいと思う	93.4	95.2
◎地域の行事に参加している	93.3	68.0
△人が困っているときは、進んで助けている	73.3	87.9

⇒地域の行事に参加し、ふるさと学習を通して、地域に対する関心度は高くなっています。また、道徳の授業や人権学習に取り組み、縦割り班活動を充実させたことで、規範意識も高まり、仲間意識の向上につながっています。

調査結果を受けて、改善策を検討し、全職員で共通理解をして取り組んでいます。そのため、学校生活全般をとおして、子ども同士のつながりが深まり、主体的に学習に取り組む姿が見られるようになりました。